

「ガバナー協議会」設置について

国際ロータリー第2660地区

ガバナー **横山 守雄**

日本34地区ガバナーで構成されております本年度の「ガバナー会」は、日本のロータリーが直面しております諸問題について、この1年間を通じて幾多の討議を重ねて参りました。その結果、このたび開かれましたガバナー会において、「ガバナー協議会」を設置し、その場で日本のロータリーの諸問題を協議することを決定いたしました。

今後「ガバナー協議会」は「ガバナー会」に対する諮問機関として機能することを目指しております。

日本のロータリークラブ会員はここ10年間にわたり減少を続けておりますが、時代の変遷と共に、ガバナー会傘下の組織や活動にも、いろいろなひずみが出てきております。ガバナー会が現在、直接・間接に関わっております組織は次の通りです。

- ① ロータリーの友
 - ② ロータリー文庫
 - ③ 全国青少年交換委員会 (JYEC)
 - ④ RI日本青少年交換委員会 (RIJYEC)
 - ⑤ 米山記念奨学会
- 非公式組織：
- ⑥ ローターアクト全国大会
 - ⑦ ライラ全国大会

これらの組織運営は、本来各クラブ・各地区の意向が十分に反映されたかたちで運営されるべきものですが、実際には各組織の役員人事、資金管理、運営、監査などはそれぞれの組織内の判断で行なわれており、長年の慣行が殆どそのまま踏襲され、日本のロータリーが現在おかれた情勢にそぐわない点が多々出てきております。

一方、当地区自体の運営も会員の減少で逼迫した財政状態が続いておりますが、当地区から上記組織の運営費として毎年支払っている会員1人当たりの人頭分担金は次の通りです。

ガバナー会運営費200円：ロータリー文庫300円：
RIJYEC100円：平和フェロー支援金 15円の合計
615円。

ロータリーの友2,520円の購読料は各クラブから支払われています。

米山記念奨学会の運営は会員の任意寄附金で賄われています。

それぞれの人頭分担金に4,000名の会員数を掛けますと、大変大きな金額になります。全国ベースの95,000名では莫大な金額になります。

本年度のガバナー会としましては、上記各組織の問題点を把握するため分科会を設置し、各ロータリアンの視点から、それぞれの組織の問題点を調査して参りました。各組織で潤沢な積立金を保有しているところもありますが、その様な大きな留保金が必要なのかどうか。また各ロータリアンの人頭分担金が本当に有効に活用されているのか、それぞれの組織や、人事、活動内容、運営コストなどを改善する余地はないのかなど、これまで掘り下げて検討されたことはありませんでした。

各組織に対し、各ロータリアンの声を反映したアドバイスを行なう機関は、ガバナー会以外にないわけですが、現職ガバナーは現実問題として、クラブ公式訪問や、地区委員会活動、地区大会開催、その他の諸々の会合に追われ、上述の諸問題に深く取組める時間的余裕がなく対応が難しい状況にあります。

そこで2008-09年度ガバナー会は「ガバナー協議会」を年度内に立上げ、諸々の問題改善に向けて解決を図ることに致しました。全国34地区より、現職ガバナー及びパストガバナーを交えた「ガバナー協議会」委員を2年間の任期で公平に選出し、日本のロータリーが直面する諸問題の解決、そして日本ロータリーの活力復活にかけて対応して行くことになりました。

当地区の初年度の「ガバナー協議会」委員は、本年度当地区ガバナーの私が任命されました。今後の「ガバナー協議会」での審議の進捗状況につきましては、逐次各クラブの皆様へご報告致します。本件に対する各クラブの皆様方のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。